

気象講演会

今夏の猛暑から学んだこと ～要因とその影響～

講演

平成22年夏の大雨と高温

松下 譲

札幌管区気象台 技術部予報課 主任予報官

例年にない暑さ ～生活に役立つ気象情報とは～

大久保 智子

(財)日本気象協会 北海道支社 気象キャスター(気象予報士)

天候が及ぼす北海道農業への影響

廣田 知良

(独)農研機構 北海道農業研究センター 寒地温暖化研究チーム長

地球温暖化と平成22年夏の天候

吉田 隆

札幌管区気象台 技術部長

日時

11月16日(火)

14時00分～16時30分

場所

札幌市男女共同参画センター

(札幌市北区北8条西3丁目)

札幌エルプラザ 3階ホール)

<主催:札幌管区気象台・日本気象学会北海道本部 >

入場無料



JR札幌駅北口より徒歩5分

お問い合わせ先 札幌管区気象台 総務部 業務課 (011)611-3217

平成 22 年度 気象講演会 講演内容



「平成 22 年夏の大雨と高温」

松下 譲 (札幌管区気象台 技術部予報課 主任予報官)

1974 年気象庁入庁。
道内各地の気象台で、観測や予報業務に従事。2000 年より旭川地方気象台で予報官の職に就く。以後、札幌管区気象台予報官、室蘭地方気象台防災業務課長、同技術課長を歴任し、2009 年より現職。

平成 22 年夏の北海道は日本海側を中心に大雨による災害が発生し、気温も高く経過しました。気象災害から大雨事例を選択しその実態と要因、気温の状況と高温になった要因について天気図や観測結果を基に紹介します。



「例年にない暑さ ～生活に役立つ気象情報とは～」

大久保 智子 ((財)日本気象協会北海道支社 気象キャスター)

2006 年日本気象協会北海道支社に入社。
2007 年より気象キャスターとしてテレビやラジオで天気予報のコーナーを担当。
今春「eco 検定」を取得。気象だけでなく環境問題への取り組みにも参加している。

今夏は記録的な猛暑となりました。例年のようなカラッとした暑さではなく、本州並みのジメジメとした蒸し暑さが続き、札幌市では過去最多の食中毒警報が発表されました。猛暑によって売上が増加したものの、価格が高騰したものなど、私たちの生活への影響も様々。今回の講演では、天気予報の中で日々の生活に役立てていただくためにどのような情報をお伝えしているのかご紹介したいと思います。



「天候が及ぼす北海道農業への影響」

廣田 知良 ((独)農研機構 北海道農業研究センター 寒地温暖化研究チーム長)

1991 年九州大学大学院農学研究科修了。同年農林水産省入省、北海道農業試験場研究員。
1999 年～ 2001 年カナダ・サスカチュワン大学工学部客員教授。2001 年(独)農研機構北海道農業研究センター主任研究官。2008 年から現職。また同年から北海道大学農学院連携大学院客員准教授。現在、農業気象、気候変動と北海道農業の関係に関する研究に取り組んでいる。

地球温暖化の問題が進行しつつある昨今、今年の猛暑多雨・昨年の冷夏多雨にみられるように、北海道農業にとって気象の変動幅の増大による天候不順、異常気象の頻発が現実的な問題となっています。ここでは、気象・気候変動と北海道農業の関係について、北海道農業研究センターでの近年の研究・調査事例を中心に報告します。



「地球温暖化と平成 22 年夏の天候」

吉田 隆 (札幌管区気象台 技術部長)

京都大学農学部卒業。
1986 年気象庁入庁。函館海洋気象台や気象庁で海洋観測、データ解析に従事。運輸省環境・海洋課、気象庁地球温暖化対策調整官などを経て、2010 年 4 月より現職。

平成 22 年の夏の天候には地球温暖化に伴って起こると予想されるいくつかの現象が現れました。地球温暖化によって気候にどのような変化が現れるか、この夏の天候を例にとって紹介します。